

基本理念

ぬくもりのある町しんばし

子どもから
高齢者まで
あいさつを
交わせる町
新橋町



新橋地区がめざす町



① 助け合いのある町

困ったときに気軽に「助けて」と言える町をめざします。
子どもから高齢者まで誰もが声を掛け合って助け合える町をめざします。
自助・共助・公助に加え、近所で助け合う町をめざします。

② 見守りのある安心な町

子どもから高齢者まで見守りを行い、障害があってもなくても、安心して暮らせる町をめざします。

③ 楽しく健やかにすごせる町

元気に歳を重ね、心身ともにいつまでも楽しく健やかにすごせる町をめざします。

④ 地域の活動を未来につなげる町

地域の活動を一緒に行う仲間を増やし、地域の活動を未来につなげる町をめざします。

活動目標・具体的な取組

活動目標

第4期計画の取組（令和3年度～7年度）

【目標1】地域の活動を一緒に行う仲間を増やします。

→ めざす町 ①、②、③、④

- 第3期の活動を継続し、地域の自然にふれあう活動、趣味を生かした活動など、地域の親交に役立つ企画を開催します。
- 地域活動の担い手を増やす取組を進めます。

【目標2】子育て世代から高齢世代まで、多世代が交流できる場を提供します。

→ めざす町 ①、②

- サロン活動やこども食堂を継続し、より多くの方が参加しやすいように内容の充実を図ります。
- 普段からの声掛けが広がることをめざします。

【目標3】たくさんの方が健康づくり活動に取り組めるようにします。

→ めざす町 ③

- サロン活動などの中で定期的な軽い運動や健康チェックを取り入れて、日常的な健康づくり活動の定着をめざします。
- 高齢者のフレイル（加齢による心身の衰え）予防に取り組みます。

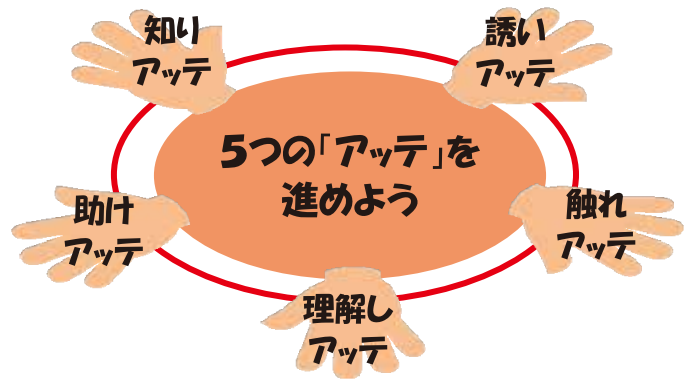
【目標4】地域の情報を発信し、たくさんの方が参加できるようにします。

→ めざす町 ④

- 地域情報が、誰でも見やすく手に取りやすくなるよう工夫します。
- 「新橋だより」の発行やホームページでの情報発信を継続します。
- 子育て世代がインターネットやスマートフォンでサロンなどの情報を収集できるようにします。

アツテ祭りのいわれ

泉区の地域ふれあい祭りの先駆けとして、平成6年から「新橋アツテ祭り」を始めました。祭りの名前の由来は、5つの「アツテ」がテーマとなっているためです。



第3期計画での成果（平成28年度～令和2年度）

新規事業 竹炭をつくる会、コミュニティしんばし食堂、新橋自習クラブ、新橋ホームふれあい麻雀、助けあいぬくもり隊の活動を始めました。

目標1 地域の活動を一緒に行う仲間をふやします。

⇒地域の自然にふれあう活動として「新橋自然観察クラブ」、趣味を生かした活動として「ふれあいサロン寺子屋パソコン」「刃物研ぎ」「竹炭をつくる会」「新橋ホームふれあい麻雀」などを開催し、新しい仲間が集える場をふやしました。また「助け合いぬくもり隊」では、地域の支えあい・助けあい活動を行いました。



新橋ホームふれあい麻雀



刃物研ぎ



竹炭をつくる会

目標2 子育て世代から高齢世代まで、多世代が交流できる場を作ります。

⇒「世代ふれあいサロンしんばし※」「気軽にサロン」「カレーを食べる会」「新橋自習クラブ」などを開催し、世代交流が深まりました。また「コミュニティしんばし食堂」では、子どもから大人までのみんなの憩いの場ができました。

※「世代ふれあいサロンしんばし」は、子育てサロン・地域の方のつどいの場「しんばしカフェサロン」としてリニューアルオープンしました。



コミュニティしんばし食堂



気軽にサロン



新橋自習クラブ

目標3 地域の情報を発信し、たくさんの方が参加できるようにします。

⇒「新橋だより」の発行や、新橋連合自治会・泉区社会福祉協議会ホームページへの情報の掲載により、地域の活動を紹介しました。また「新橋地区社会福祉協議会30年史」を作成し、これまでの歩みについて情報発信しました。掲示板などの積極的な活用により、活動のチラシを多くの人に周知しました。

